

こどもまんなか応援サポーター概要

【5月2日以降スタート 随時活動参加募集】

別紙 1

1 こどもまんなかの趣旨に賛同する。

こどもまんなか社会実現に向けて、賛同した方・団体メンバーご自身がこども若者に対して何ができるのかを考えるきっかけづくり。

2 サポーターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。

こども・若者に意見を聴き尊重した上で何ができるか、の答えはさまざま、正解はありません。それぞれにできる、こどもまんなかに向けたアクションをぜひお願いします。

※ アクション例

- ・「こどもかいぎを開いて、こども・若者の意見をきいて〇〇に反映してみた」
- ・「電車の乗り降りで、ベビーカーを優先する」・「トイレの行列など、子連れに順番譲っている」
- ・「荷物を持ってるお子さん連れに、ドアあけてあげる」・「お店に子連れ優先席つくった」

「こどもまんなか」

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。どんなこどものことも考えていきます。

3 ご自身・団体のアクションを発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける。

SNS(Twitter、Instagram等) やYouTube上でそれぞれのアクションを #こどもまんなかやってみた をつけて発表。

こども家庭庁はリツイートとホームページでのご紹介等で拡散とみなさまのアクションの見える化を行います。

積極的な発信とアクションのご協力をお願いいたします。

※ みなさんに使っていただける「こどもまんなかマーク」を、こども含めみなさんの投票により決定。ホームページで届け出いただくことによりご活用いただけます。 <https://www.cfa.go.jp/mannaka-mark/>

こども
まんなか

こども家庭庁問い合わせ窓口 03-6860-0116（自治体連携担当） 担当：岩崎企画官 / 安藤広報推進官

※こども家庭庁資料より

こどもまんなか応援サポーター宣言

こどもまんなか応援サポーターとは

こども家庭庁では、こどもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に共感・賛同し、その取組を応援し、自らもアクションに取り組む個人や地方自治体、団体や企業を「こどもまんなか応援サポーター」と位置づけている。



濱田省司知事・くろしおくん・るんだが
「こどもまんなか応援サポーター」に就任



具体的な取組

- 「子育て応援の店」で利用できるデジタルクーポンの付与等により、「高知家子育て応援パスポートアプリ」の活用を促進し、**子育て世帯の楽しいおでかけを応援します。**
- 「子どもの環境づくり推進委員会」の**こども委員と知事が直接対話**し、意見を聞いて施策に反映します。
- 県のSNS等において、こどもや若者を対象とした取組に「**#こどもまんなかやってみた**」を付した発信を行います。
また、事業所や県民のみなさまに対し、広く参加を呼びかけます。

高知県 高知家の家族

こどもまんなか
応援サポーター宣言

- 1 こどもまんなかの趣旨に賛同します。
- 2 こどもまんなか応援サポーター宣言に基づく取組を推進します。
- 3 こどもまんなかの取組の発信や参加を呼びかけます。

#こどもまんなかやってみた その1

6月16日に、濱田知事と一緒に「こどもまんなか応援サポーター」に就任したくろしおくんをとるんだ。

緊張の記者会見の様子を、少しですが収録しています♪

そのほか、妊婦さんに席を譲る”こどもまんなか”に早速取り組むくろしおくんをとるんだの様子や、

それぞれの宣言カードを持った、凜々しいツーショットも収めていますよ☆

是非ご覧いただいて、沢山の”いいね！”をお待ちしています！

[TikTok動画はこちらから☆](#)



#こどもまんなかやってみた その2

くろしおくんとるんだの”こどもまんなか”はまだまだ続きます♪

赤ちゃんを抱っこして両手が塞がっているママの代わりにドアを開けたり、

ベビーカーを押しているママにエレベーターを譲ったり・・・

ママからのありがとうや笑顔をもらったふたりは嬉しさのあまりハイタッチ☆

是非ご覧いただいて、沢山の”いいね！”をお待ちしています！

[TikTok動画はこちらから☆](#)

赤ちゃんを
抱っこ中のママ/
ドアをあけてみた！



ベビーカーを
押しているママ♪/
エレベーターを
ゆずってみた！

こどもまんなか/
だいせいこう☆

